

# 大阪市役所医師会報

発行 大阪市役所医師会

〒541-0055 大阪市中央区船場中央3-1-7-326 財団法人大阪市環境保健協会内 TEL (06)6254-7982

No. 134 2016(平成28年)10月

## 巻頭の言

～金メダル以上の銀メダル リオデジャネイロオリンピック～

大阪市役所医師会会長 田中正博

今年は4年に1回のオリンピックイヤーです。準備の遅れで開催が危ぶまれたリオデジャネイロオリンピックですが、テレビ放送を見ていると、地球の裏側からの心配をよそにしっかりと運営されており、安心しました。陽気なサンバの国なので、最後は一気に完成させて、辻褄を合わせて、結果オーライということなのでしょう。忙しくて残念ながら、テレビを見ている時間はあまりなかったですが、録画などで頑張っている日本選手を応援していると結構感動的でした。



### ●今号の 主な内容

巻頭の言	1頁
平成28年度大阪市役所医師会学術集会報告	4頁
学術集会プログラム 優秀演題抄録	
学術集会特別講演	10頁
第2回大阪総合病院精神医学研究会の報告	12頁
小児がん講演会の報告	14頁
平成27年度総会記事	16頁
総会議事録 平成26年度事業報告 平成27年度事業計画	
代議員会議事録(4～9月分)	19頁
大阪市役所医師会代議員名簿	25頁
大阪市役所医師会役員・委員会組織表	26頁
お知らせ・編集後記	27頁

オリンピックと言えば、日本選手団主将をつとめた女子レスリングの吉田沙保里選手が印象的でした。

主将には（金）メダルを取れる選手がふさわしいという基準で選ばれていますが1996年アトランタ男子マラソンの谷口浩美選手、2000年シドニー野球の杉浦正則選手、2004年アテネ柔道の井上康生選手、2008年北京柔道の鈴木桂治選手、2012年のロンドンやり投げの村上幸史選手と6大会連続で日本選手団主将の金メダリストが誕生していません。

主将を引き受ければ、結団式などの公式行事で先頭に立つ、のしかかる精神的な重圧が大きい、試合への最終調整に専念することが難しくなる。その結果「選手団主将は勝てないというジンクスが広がり、最近はみんな弱気で、ジンクスを気にして日本選手団主将就任を断られている」と嘆き節も聞こえていました（JOC幹部）。

吉田選手はジンクスを気にせず、依頼されたら当然のように快諾したそうです。

吉田選手は個人戦206連勝、オリンピック3連覇、世界選手権と合わせて世界大会16連覇中でした（16年間負けなし）。「霊長類最強」と言われ、オリンピック女子選手では初となる個人種目4連覇が期待されていました。決勝戦で米国のヘレン・マラーリス選手に敗れて、惜しくも銀メダルになりました。

今回のオリンピックで女子レスリングは金メダルを4個獲得しました。うちひとりとは2年後輩の伊調馨選手です。残る3人は今大会が初の五輪となる吉田選手が育てた次世代の選手たちです（48キロ級の登坂絵莉選手、63キロ級の川井梨紗子選手、69キロ級の土性沙羅選手）。

栄和人全日本女子レスリングヘッドコーチは「吉田は期待を背負い、練習ではみんなを引っ張った。日本選手団主将としての役割も入れたら金メダル以上の銀メダルだと言いたい。」と吉田選手を讃えました。

われわれは「霊長類最強」のレスリング選手にはなれませんが、「霊長類最強」の医師を目指しましょう。患者さんにとって、最高の主治医になりましょう。練習でみんなを引っ張るかわりに、後輩やコメディカルの面倒を見て、チームのレベルアップをしましょう。

#### 参考資料

1. 金メダル以上の銀メダル…時代築き、後進育て

<http://mainichi.jp/sportsspecial/articles/20160820/k00/00m/050/040000c>

2. リオ五輪 大学のチカラ 家族のような一体感 至学館大レスリング部

<http://mainichi.jp/sportsspecial/articles/20160320/ddm/035/050/169000c>

3. 吉田の銀に「嘆くよりも感謝」

<http://news.livedoor.com/article/detail/11907598/>



# 大阪市役所医師会学術集会報告

大阪市役所医師会学術委員長 依 藤 亨  
(大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科)

平成28年度の第54回大阪市役所医師会学術集会は、平成28年8月27日に大阪市立総合医療センター「さくらホール」で開催しました。皆様の協力でなんとか無事終了することができたことを感謝申し上げます。

本年度も大阪市役所医師会所属の各部門が力を入れて行っている「当部門のstate-of-the-art」をキーワードとして、日頃かかわりの少ない他部門の現況を知ってもらえる会といたしました。その結果、一般演題には14題のご応募を頂き、特別講演1題と合わせて15題での開催となりました。一般演題筆頭演者の所属内訳は、総合医療センター9題、十三市民病院1題、大阪市4題で、うち4題は熊本震災関連となりました。

内容的にはそれぞれの演題は力のこもったもので、他分野の人間としても聴きごたえのある演題が並びました。

座長は総合医療センター消化器外科西口幸雄先生、糖尿病内科の細井雅之先生、小児救急科の天羽清子先生、大阪市保健所の吉村高尚先生にお願いし、会場の設営と会の運営に関しては、例年通り臨床研修医1年目の先生方に手伝っていただきました。お手伝いいただいた先生方にはこの場を借りて感謝いたします。

特別講演は、慶應義塾大学腎臓内分泌代謝内科教授の伊藤裕先生に「腸内フローラの腸！いい話」という演題でご講演頂きました。マスコミにもしばしば登場される「腸」売れっ子で、かつ日本内分泌学会代表理事（理事長）という大物講演者で、通常だと当会の規模では依頼困難な先生ですが、快く講演をお受けいただきました。最近NatureやScienceをしばしば賑わせる腸内フローラの研究をわかりやすくご講演いただきとても好評でした。本講演の要約はこの年報に掲載しておりますので、あわせてお読みいただければ幸いです。

今回も一般演題の中から選考委員会の審査により優秀な発表を選考し、優秀賞を授与しました。今回優秀賞を受賞された発表者は総合医療センター小児代謝・内分泌内科の榊原杏美先生による、「ビタミンD欠乏性くる病における活性型ビタミンD製剤内服の身長に対する効果」でした。榊原先生にはこれを機に今後さらに研究の発展に努力して頂けるよう期待しております。

次年度以降も、会員の先生方の活発なご参加を期待して、報告に代えさせていただきます。

## 第54回(平成28年度) 大阪市役所医師会学術集会プログラム

開会の辞 大阪市役所医師会長、  
大阪市立総合医療センター放射線腫瘍科 田中正博

一般演題(口演5分、質疑3分)

【セッション1】 座長 大阪市立総合医療センター 消化器外科 西口幸雄

(1) 高齢者大腸癌患者に対する手術成績

大阪市立総合医療センター消化器外科

- 三浦光太郎、日月亜紀子、白井大介、亀井佑梨、飯田優理香、渡部智加、  
櫛山周平、田嶋哲三、出口惣大、田内 潤、三浦光太郎、野沢彰紀、浦田順久、  
村田哲洋、高台真太郎、櫻井克宣、玉森 豊、久保尚士、清水貞利、井上 透、  
金沢景成、西口幸雄

(2) 臍頭十二指腸切除術を安全・確実に行うために

大阪市立総合医療センター肝胆膵外科, 消化器外科

- 田内 潤、清水貞利、村田哲洋、金沢景繁、高台真太郎、浦田順久、野沢彰紀、  
三浦光太郎、田嶋哲三、出口惣大、櫛山周平、飯田優理香、櫻井克宣、  
日月亜紀子、玉森 豊、久保尚士、井上 透、西口幸雄

(3) 当科での乳房温存術における整容性向上のための工夫

～ State of the Art for BCT ～

大阪市立総合医療センター 乳腺外科

- 渡部智加

(4) 放射線治療装置トモセラピーを用いた治療経験

大阪市立総合医療センター 放射線腫瘍科

- 池田裕子、千草 智、島谷康彦、井上菜穂子、阪中英里加、田中正博

【セッション2】 座長 大阪市立総合医療センター 糖尿病内科 細井雅之

(5) アルコール使用障害特定テスト(AUDIT)スコアは既存の採血検査に比し飲酒量の推定に有用である

- <sup>1</sup> 地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立十三市民病院 消化器内科
- <sup>2</sup> 香川大学医学部附属病院 臨床研究支援センター
- <sup>3</sup> 大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学
  - 藤井英樹<sup>1</sup>、西本尚樹<sup>2</sup>、小野洋嗣<sup>1</sup>、宮野正人<sup>1</sup>、上田 渉<sup>1</sup>、大庭宏子<sup>1</sup>、山口誓子<sup>1</sup>、青木哲哉<sup>1</sup>、倉井 修<sup>1</sup>、河田則文<sup>3</sup>、大川清孝<sup>1</sup>

(6) 当院における経カテーテル大動脈弁置換術 (TAVI) の初期成績

- <sup>1</sup> 大阪市立総合医療センター 循環器内科
- <sup>2</sup> 大阪市立総合医療センター 心臓血管外科
  - 成子隆彦<sup>1</sup>、松本 亮<sup>1</sup>、加川俊介<sup>1</sup>、松下司<sup>1</sup>、吉山智貴<sup>1</sup>、赤松加奈子<sup>1</sup>、松尾真典<sup>1</sup>、占野賢司<sup>1</sup>、松村嘉起<sup>1</sup>、阿部幸雄<sup>1</sup>、紙森公雄<sup>1</sup>、尾藤康行<sup>2</sup>、佐々木康之<sup>2</sup>

(7) 重症低血糖により救急搬送となった糖尿病患者についての検討

- 大阪市立総合医療センター 糖尿病内科
  - 薬師寺洋介、栗原琴美、玉井杏奈、吉田陽子、小原正也、生野淑子、武内真有、上野宏樹、福本まりこ、山上啓子、細井雅之

【セッション3】 座長 大阪市立総合医療センター 小児救急科 天羽清子

(8) 大阪市内病院の感染防止対策加算取得、及び感染制御に係る資格の取得状況等についての調査

- <sup>1</sup> 大阪市健康局健康推進部、<sup>2</sup> 大阪市保健所
  - 中山浩二<sup>1</sup>、国吉裕子<sup>2</sup>、中川裕子<sup>2</sup>、吉田英樹<sup>2</sup>、半羽宏之<sup>2</sup>、吉野祥一<sup>2</sup>、吉村高尚<sup>2</sup>

(9) ビタミンD欠乏性くる病における活性型ビタミンD製剤内服の身長に対する効果  
大阪市立総合医療センター 小児代謝・内分泌内科

- 榊原杏美、橋本有紀子、川北理恵、細川悠紀、依藤 亨

(10) 難治性神経芽腫に対する抗GD2抗体医師主導治験

- <sup>1</sup> 大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科、
- <sup>2</sup> 大阪市立総合医療センター臨床研究センター
  - 仁谷千賀<sup>1</sup>、石井裕子<sup>1</sup>、中村さやか<sup>1</sup>、山崎夏維<sup>1</sup>、岡田恵子<sup>1</sup>、藤崎弘之<sup>1</sup>、松田貴子<sup>2</sup>、和田昌子<sup>2</sup>、谷和順子<sup>2</sup>、大久保善夫<sup>2</sup>、原 純一<sup>1</sup>

**【セッション4・熊本震災をめぐって】** 座長 大阪市保健所 吉村高尚

(11) 熊本における当院DMAT活動の報告

大阪市立総合医療センター 救命救急センター

- 石川順一、山下智也、立木規与秀、森本 健、重光胤明、師岡誉也、福家顕宏、有元秀樹、林下浩士

(12) 熊本地震に係る大阪市公衆衛生支援チーム先遣隊としての活動報告

<sup>1</sup> 大阪市健康局健康推進部、

<sup>2</sup> 大阪市保健所

- 中山浩二<sup>1</sup>、撫井賀代<sup>2</sup>、吉田英樹<sup>2</sup>、大仲博之<sup>2</sup>、吉村高尚<sup>2</sup>、竹内 敏<sup>1</sup>、甲田伸一<sup>1</sup>

(13) 被災地支援にあたる職員の健康管理について

<sup>1</sup> 大阪市人事室 人事課厚生グループ、

<sup>2</sup> 大阪市立総合医療センター 総務課

- 出雲谷恭子<sup>1</sup>、豊永公司<sup>2</sup>

(14) 災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）の創設に向けた課題と展望

<sup>1</sup> 大阪市保健所、

<sup>2</sup> 大阪市健康局健康推進部

- 吉村高尚<sup>1</sup>、吉田英樹<sup>1</sup>、中山浩二<sup>2</sup>、撫井賀代<sup>2</sup>

**特別講演**

座長 大阪市立総合医療センター 内分泌内科 金本巨哲

「腸内フローラ」の腸！いい話

講師 慶応義塾大学医学部腎臓内分泌代謝内科教授 伊藤 裕 先生

**講評・優秀演題発表** 審査委員代表

閉会の辞 依藤 亨

## ビタミンD欠乏性くる病における活性型ビタミンD製剤内服の身長に対する効果

大阪市立総合医療センター 小児代謝・内分泌内科

○榊原杏美 橋本有紀子、川北理恵、細川悠紀、依藤 亨

**【はじめに】** ビタミンD欠乏性くる病は栄養状態のよくなかった時代の疾患であり現代では稀と考えられていた。しかし実際は母乳栄養、食物アレルギーによる過度な食事制限、極端な紫外線照射不足などが原因で発症し、現代の日本においても決して珍しい疾患ではない。ビタミンDの補充により下肢変形の多くは改善するが、身長予後についての報告は乏しい。今回、活性型ビタミンD製剤内服の身長に対する効果について検討したので報告する。

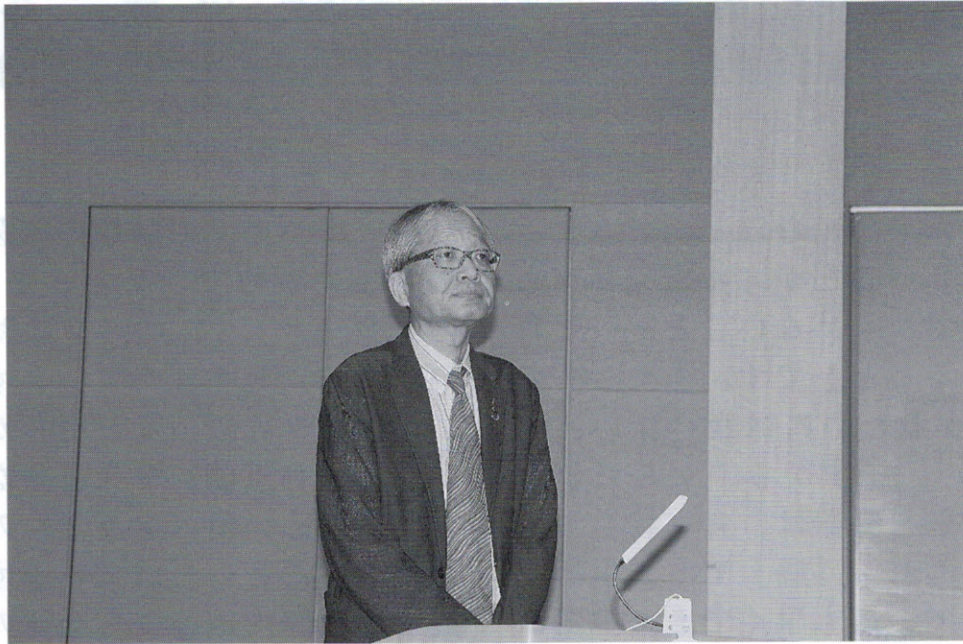
**【対象と方法】** 2010年4月から2015年12月に当科を受診しビタミンD欠乏性くる病としてアルファカルシドールで治療を受けた39例（男児21例、女児18例）を対象とした。診断時及び治療中のALP, iPTH, 25(OH)Dなどの生化学検査、身長、アルファカルシドール内服期間について診療録を用いて後方視的に検討した。

**【結果】** 初診時の月齢は中央値22.0か月(14-47)、身長SDは平均  $-1.46 \pm 1.4$  SDであった。39例中37例は内反膝、1例

は外反膝を認めた。診断時、25(OH)Dは中央値11.0ng/mL (1.0-18.5)、ALP 1965 IU/L (666-7360)、iPTH 125.5 pg/mL (31.0-608.0)、尿中Ca/Cre 0.03 (0.01-0.41)。ALPと身長SDには負の相関を、ALPとiPTHに正の相関を認めた。内服期間は中央値16.0か月(7-62)で、治療開始時からの身長SDSの変化率( $\Delta$ SD)は6か月後  $+0.56$  SD ( $p < 0.001$ )、1年後  $+0.88$  SD ( $p < 0.001$ )、1.5年後  $+1.01$  SD ( $p < 0.001$ )と有意な改善が見られた。治療開始後6か月、1年後の $\Delta$ SDが0より高い群と0以下の群に分け検討したところ、治療開始時身長SD低値が $\Delta$ SD改善に寄与する因子であった。

**【結語】** ビタミンD欠乏性くる病において、活性型ビタミンD製剤の投与により身長SDSが改善したことが示された。内反膝や検査所見の改善のみならず身長予後についても効果があるため、ハイリスク児や有症状児に対する診断および治療の重要性は高いと考えられる。





特別講演講師 慶應義塾大学腎臓内分泌代謝内科教授 伊藤裕先生



優秀賞授与式

## 「腸内フローラ」の腸！いい話

慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科教授 伊藤 裕<sup>先生</sup>

毎日どんないやなことがあってもどんな楽しいことがあっても私たちが唯一絶対に止めないこと——それは「食べること」です。わたしたちは、「生きるためには食べないといけません」。ですから、からだの中で最も重要な臓器は、食べ物を消化吸収してくれる「腸」です。生物の進化の中で、最も早くできた臓器は「腸」で、「腸」ができてから、あとになって「脳」は「腸」がうまく動くために作られましたし、「心臓」は「腸」が吸収した栄養をうまく運ぶために生まれました。私たちは「食べるために生きている」といってもいいかもしれません。

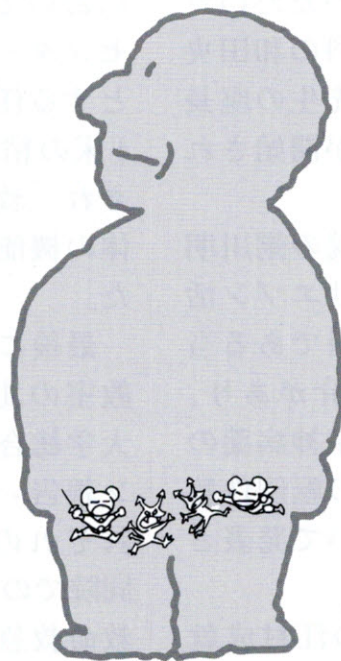
実は、私たちは、自分一人では、食べたものをうまく消化吸収できません。仲間の力を借りなければ、うまく食べて生きていくことができないのです（共生関係）。この仲間が、腸の中に棲んでいる「腸内細菌」たちです。私たちは、おなかの中に、自分の細胞と同じ数の細菌（100兆個）を飼っています。重さにしてなんと1キロにも達します。その種類は1000種類ほどあるといわれてい

ます。たくさんの種類の細菌が腸に生きているので、そのさまは、「腸内フローラ」（フローラはお花畑という意味）と呼ばれています。ビフィズ菌や乳酸菌など明らかに体にいい菌（善玉菌）や大腸菌などのように体に悪い菌（悪玉菌）のバランスが大切だといわれていますが、最近では、腸内細菌たち全体の種類の多さ——バラエティー——が大切だということが分かってきました。お花畑に咲いている花の種類が大切なのです。この種類の多さが、環境が変わっても、柔軟に対応できる病気に対する強靱性（ロバストネス）を生み出しています。

「腸」が一番大切な臓器であって、ほかの多くの臓器は、「腸」との関係のなかで、働いています。ですから、「腸内フローラ」の乱れは、腸の病気だけでなく、思いもかけなかった、いろいろな病気の原因となることが明らかになってきています。肥満、糖尿病、癌、アレルギー疾患、腎臓病、動脈硬化、アルツハイマー病、自閉症など多くの病気が、「腸内フローラ」の乱れと関係している

と考えられるようになってきました。腸内細菌たちは、自分たちの餌である「食物繊維」を食べて、「短鎖脂肪酸」などの物質を産生します。これらの代謝産物が「腸」から吸収されて、血液をめぐる全身の臓器に運ばれ、それらの臓器の働きを制御し、あるいは、「腸」の周りの神経に直接働きかけ神経機能を調節していま

す。ですから、「腸内フローラ」の変化は、たくさんの臓器に変化を来します。これまで原因不明と言われてきた病気に、「腸内フローラ」が関わっているかもしれません。ですから、「腸内フローラ」を元気にすることができれば、私たちは、健康長寿の体質を手に入れることができる可能性が高いのです。



## 「総合病院精神科の多様なリエゾン活動」

当番世話人 大阪市立総合医療センター精神神経科 古塚 大介

平成28年5月28日(土)、大阪市都島区の大阪市立総合医療センターさくらホールにおいて、第2回大阪総合病院精神医学研究会を開催させていただきました。今回のテーマは、総合病院精神科の大きな役割であるリエゾン活動について「総合病院精神科の多様なリエゾン活動」をメインテーマとして有床総合病院精神科、無床総合病院精神科、大学病院そして昨年精神科病床を新設した総合病院の4つの立場からシンポジウム形式で開催した。

冒頭、大阪総合病院精神医学研究会の代表世話人である大阪府立急性期・総合医療センター精神科部長の松永秀典先生から開会のご挨拶をいただいたあと、大阪赤十字病院精神科の和田央先生と住友病院の池尻義隆先生の座長のもとシンポジストの発表が開始された。

最初のシンポジストは当院の粥川朋哉先生が「有床総合病院のリエゾン活動」のタイトルで有床精神科である当院のリエゾン活動状況の紹介があり、そのなかでせん妄対策で抗精神病薬の使用を減少することで患者の転倒件数が減少したということについて発表された。

次いでJR大阪鉄道病院の江村成就先生から「無床総合病院精神科のリエ

ゾン活動～持参薬チェックからみるリエゾン活動～」というテーマで、同病院の精神科医、認知症看護認定看護師、薬剤師の3名体制で構成される認知症・せん妄対策チームの活動の紹介があり、薬剤師による持参薬のチェックすることにより、向精神薬によるふらつきや転倒のリスクを早期に認識することで、より安全な医療の提供を行うことが可能となったことが報告された。

三番目のシンポジストは、国立病院機構大阪医療センター廣常秀人先生で、「無床から有床へ～救命救急センターから任意入院を受け始めたこの半年間を振り返って」というテーマで、同院において平成27年10月より救命救急センターに搬送された自殺未遂を中心とする任意入院のみの後方病棟として4床の精神科病床の開設について紹介され、救命救急との連携により病院全体の機能が向上されたことが報告された。

最後に、関西医科大学精神神経科学教室の北浦祐一先生から、「関西医科大学総合医療センターにおけるリエゾン報告-リエゾン、救命、緩和ケアそれぞれの役割-」というタイトルで、同院でのコンサルテーションへの対応、救命救急センターへの精神科常勤医派遣、緩和ケアチーム・リエゾンチーム

での精神科医の活動など大学病院ならではの多彩かつ積極的なコンサルテーション・リエゾン精神医学の実践が報告、救急救命センターでの大阪府自殺未遂支援センターの立ち上げなど、リエゾン医療の方向性を提示していただいた。

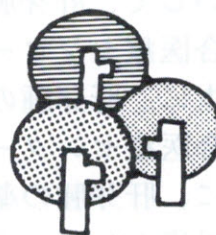
各演者の発表の後、座長の進行の元約40分の総合討論があり、フロアを交え活発な討議が行われ、多くの参加者にとって有意義な研究会であった。

研究会の締めくくりとして、市立豊中病院の宮川真一先生から閉会の挨拶があり、次回の大阪総合病院精神医学

研究会は関西医科大学の吉村匡史先生が当番世話人として開催されることが案内された。

今回の研究会の参加者は55名と若干少なかったが、医師、看護師、心理士、精神保健福祉士、薬剤師など総合病院精神科医療にかかわる多くの職種の方々の熱心な討論が行われ、今後の総合病院精神医療現場に役立つ議論ができた。

最後に、今回の研究会の開催にあたり、大阪市役所医師会から多くのご援助をいただいたことに、この場をお借り感謝申し上げたい。



# 小児がん講演会 ～放射線腫瘍医のために～

## 後援のお礼

小児がん講演会～放射線腫瘍医のために～を平成28年9月24日土曜日に小児がん拠点病院に指定されている大阪市立総合医療センターさくらホールで開催しました。日本放射線腫瘍学会がん放射線治療推進委員会と地方独立行政法人大阪市立総合医療センターの共催、後援を大阪市役所医師会にお願いしました（ポスターと写真）。

開会の挨拶を日本放射線腫瘍学会理事・がん治療推進委員会委員長の広島大学教授永田 靖先生にお願いしました。第1部緩和医療は大阪市立総合医療センター放射線腫瘍科千草智先生に座長をお願いして、東京慈恵会医科大学関根 広先生に小児放射治療の現状（小児がん拠点病院の調査結果から）、大阪市立総合医療センター緩和医療科多田羅竜平先生に小児の緩和医療、兵庫県立がんセンター放射線治療科副島 俊典先生に緩和的放射線治療のご講演をお願いしました。

第2部肝芽腫の座長を大阪市立総合医療センター放射線腫瘍科島谷康彦先生にお願いして、肝芽腫の病理学を大阪市立総合医療センター病理診断科井上 健先生に、肝芽腫の外科療法を大阪市立総合医療センター小児外科米田光宏先生に、肝芽腫の薬物療法を大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科

藤崎弘之先生にお願いしました。

第3部大阪市立総合医療センターでの小児がん治療の特徴を大阪市立総合医療センター放射線腫瘍科池田裕子先生の座長で、小児専門病院でないことのメリット・デメリットを大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科岡田恵子先生に、がん放射線療法看護認定看護師の立場からを看護師の片山沙織先生に、ホスピタルプレイスペシャリストの立場からを山地理恵先生にお願いしました。

事前申し込み80名、当日参加17名、合計97名の参加がありました。小児がんの勉強をする機会が少ないため東京、名古屋、福井、広島、福岡など遠方からの参加者も多く見られました。後援していただき、本当にありがとうございました。

（文責：田中正博）



主催 日本放射線腫瘍学会 がん放射線治療推進委員会  
地方独立行政法人 大阪市立総合医療センター  
後援 大阪府医師会



# 小児がん講演会

## ～放射線腫瘍医のために～

日時 平成28年 **9月24日(土)**  
13:00 ▶ 17:00 [開場12:30 ▶]

場所 **大阪市立総合医療センター  
さくらホール**

- がん治療推進委員会委員長 ————— 永田 靖 (広島大学)
- 小児がん放射線治療推進小委員会委員長 ————— 関根 広 (東京慈恵会医科大学附属第三病院)
- 当番世話人 ————— 田中 正博 (大阪市立総合医療センター)

### Program

開会の挨拶 ▶ 永田 靖 先生 (JASTROがん放射線治療推進委員長・広島大学大学院 放射線腫瘍学講座)

#### 第1部 緩和医療

●第1部座長 千草 智 先生 (大阪市立総合医療センター放射線腫瘍科)

小児放射治療の現状(小児がん拠点病院の調査結果から)……関根 広 先生 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 放射線医学講座)

小児の緩和医療……多田羅 竜平 先生 (大阪市立総合医療センター緩和医療科)

緩和的放射線治療……副島 俊典 先生 (兵庫県立がんセンター放射線治療科)

#### 第2部 肝芽腫

●第2部座長 島谷 康彦 先生 (大阪市立総合医療センター放射線腫瘍科)

肝芽腫の病理学……井上 健 先生 (大阪市立総合医療センター病理診断科)

肝芽腫の外科療法……米田 光宏 先生 (大阪市立総合医療センター小児外科)

肝芽腫の薬物療法……藤崎 弘之 先生 (大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科)

#### 第3部 大阪市立総合医療センターでの小児がん治療の特徴

●第3部座長 池田 裕子 先生 (大阪市立総合医療センター放射線腫瘍科)

小児専門病院でないことのメリット・デメリット……岡田 恵子 先生 (大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科)

がん放射線療法看護認定看護師の立場から……片山 沙織 先生 (認定看護師)

ホスピタルプレイスペシャリストの立場から……山地理恵 先生 (HPS)

開会の挨拶 ▶ 田中 正博 先生 (大阪市立総合医療センター放射線腫瘍科)

ご希望の方を対象に  
大阪市立総合医療センター  
放射線治療部門を  
ご見学いただけます。

#### お申込方法

裏面のお申込に必要事項をご記入の上、  
**FAX.06-6929-0886**  
までご送信ください。  
(詳しくは、裏面をご覧ください。)

●入場料:無料 ●定員:250名

●締切り:9月16日(金)

※定員に達し次第、募集を締め切らせていただきますので、  
予めご了承ください。  
※定員は250名ですが、当日空席がある場合はご参加いただけます。

お問い合わせ

大阪市立総合医療センター 地域医療連携室

TEL.06-6929-1221 FAX.06-6929-0886

<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/gaiyou/access/access.html>

# 大阪市役所医師会 平成28年度総会議事録

日時：平成27年8月27日 総会：午後1時30分～午後1時45分

学術集会：午後2時～午後5時40分

場所：総合医療センター さくらホール

参加者総数 104人（会員60人・非会員44人）

## 総会

### 開会、議長指名

- 【司会】 司会をする吉野総務副委員長より総会を開催する発言あり。  
議長選出について、司会が昨年同様志村副会長を指名し、出席者総意により承認する。

### 議長着席

- 【議長】 会長へ開会の辞を求める。
- 【会長】 開会の辞
- 【議長】 会長に議案の説明を求める。
- 【会長】 議案説明
- 1 レジデント・研修医への支援について
  - 2 代議員の交代について
  - 3 平成27年度事業報告及び決算について（事務局より）
  - 4 平成28年度事業計画及び予算について（事務局より）
- 【議長】 議案に対して意見を求めるもとくに発言なし
- 【議長】 特に異論がないので、議案1、2については承認。27年度決算、及び28年度予算については、原案どおり可決することといたします。  
本日はこれにて総会を終了します。
- 【司会】 引き続き、2時から学術集会に移る旨の発言ある。  
総会への協力への謝辞を述べる。



# 平成27年度事業報告

## 1. 総務委員会

- 新研修医ウェルカムパーティ参加 平成27年4月4日
- 大阪市役所医師会総会  
総合医療センターさくらホール 平成27年8月29日
- 5大学医師会、府庁医師会との懇談会 平成27年10月5日
- 各月 大阪府医師会都市区等医師会長協議会に参加

## 2. 学術委員会

- 大阪市役所医師会学術集会開催  
総合医療センターさくらホール 平成27年8月29日  
演題：9題  
特別講演：「健康長寿の疫学研究—何が高齢者の健康余命を予測するのか—」  
(東京都健康長寿医療センター研究所 新開 省二 先生)

## 3. 広報委員会

- 大阪市役所医師会会報誌発行 (131・132号)
- ホームページ更新

## 4. 男女共同参画委員会

- 女性医師の会補助
- 会報発行 (16・17号)
- 女性医師の会総会 平成28年2月10日
- 女性医師の会ウェルカムパーティー 平成27年5月1日

## 5. 勤務条件等検討委員会

## 6. 講演会補助

- 十三市民病院健康フェスタ 平成27年11月7日
- 総合医療センター市民公開講座 平成27年11月4日
- 総合医療センター医療安全管理研修講演会 平成27年8月25日

後援 ○第1回大阪市一般病院医師・看護師等医療職のための認知症対応力向上研修

## 7. 保健衛生委員会

## 8. 大阪市医学会との連携

- 大阪市医学会会長賞協賛
- 医学会会費負担

## 9. すこやかパートナー活動

## 10. 大阪市救急医療事業団との連携

## 11. 寄付等

- ネパール大地震被害救援活動支援金寄付
- 日本WHO協会賛助会員

---

## 平成28年度事業計画

---

1. 総務委員会
  - 大阪市役所医師会総会
  - 大阪府医師会との連携強化
  - 5大学医師会、府庁医師会との連携強化
  - 他大阪市関連医療機関等との連携強化
2. 学術委員会
  - 大阪市役所医師会学術集会開催
  - 大阪府医師会学術集会参加
3. 勤務条件等検討委員会
  - 勤務条件等検討
4. 男女共同参画委員会
  - 女性医師の会補助
  - 会報発行他
  - 大阪市女性医師ネットワークとの連携強化
5. 広報委員会
  - 大阪市役所医師会会報誌発行
  - ホームページ更新
6. 保健衛生委員会
  - 市民公開講座等への後援他
7. レジデント研修医委員会
  - 講演会・研修会補助
  - 研究支援等
8. 大阪市医学会との連携
  - 大阪市医学賞協賛
  - 会費負担
9. 講演会協力
  - 各学術講演会等後援・協賛
10. すこやかパートナー活動
11. その他

# 大阪市役所医師会 平成28年4月代議員会議事録

と き：平成28年4月26日（水） 午後6時35分～7時10分

と ころ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 村田佳津子 澤田好伴 志村雅彦 中西亜紀 出雲谷恭子  
稲田 浩 西口幸雄 古塚大介 鈴木真司 山口利昌 田中政宏  
林下浩士 金本元勝（14名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：愛場庸雅 撫井賀代 國行秀一 森 秀夫 高野保名 中田真一  
原 純一 平林 円 英久仁子 依藤 亨 栗原敏修 吉野祥一  
河田 弘（13名）

## 1. 委員会報告

- ・会長報告 熊本地震の寄付金要請について
- ・各委員会報告
  - 総務委員会 決算見込、人事異動について
  - 男女共同参画委員会 女性医師の会ウェルカムパーティ報告
  - 広報委員会 会報133号について

## 2. 議題

- ・平成27年度決算見込について
- ・人事異動について
- ・ホームページについて
- ・学術集会、総会開催時における託児サービスについて

# 大阪市役所医師会 平成28年5月代議員会議事録

と き：平成28年5月25日（水） 午後6時35分～6時55分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 依藤 亨 西口幸雄 鈴木真司 山口利昌 日浦義和  
吉野祥一（7名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：愛場庸雅 出雲谷恭子 稲田 浩 金本元勝 栗原敏修 高野保名  
中田真一 英久仁子 原 純一 平林 円 村田佳津子 林下浩士  
山田明子 田中政宏 撫井賀代 澤田好伴 河田 弘（17名）

## 1. 委員会報告

- ・ 会長報告
- ・ 各委員会報告
  - 総務委員会
  - 男女共同参画委員会
  - 広報委員会 会報133号発行について
  - 医師会ホームページのパスワード変更について
  - 6/4、11「女性医師支援シンポジウム」開催案内について

## 2. 議題

- ・ 学術集会について
- ・ 9/24実施小児がん講演会後援について
- ・ 28,29年度府医師会医学会運営委員の推薦について
- ・ その他
  - こども相談センター代議員について

# 大阪市役所医師会 平成28年6月代議員会議事録

と き：平成27年6月28日（火） 午後6時30分～7時10分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 志村雅彦 撫井賀代 依藤 亨 西口幸雄  
古塚大介 出雲谷恭子 細井雅之 鈴木真司 村田佳津子 山口利昌  
栗原敏修 金本元勝 吉野祥一 田中政宏 山田明子（17名）  
木幡利至朗（事務局）

委任状提出：中西亜紀 根引浩子 愛場庸雅 國行秀一 中田真一 平林 円  
舟本仁一 河田 弘 有元秀樹 森 秀夫 森本武志（11名）

## 1. 委員会報告

- ・会長報告 府医師会執行部について
- ・各委員会報告
  - 総務委員会
  - 男女共同参画委員会
  - 広報委員会 会報133号発行について

## 2. 議題

- ・日医認定産業医研修会（主催）について
- ・新代議員について
- ・学術集会演題について
- ・その他 市医学会会費について

# 大阪市役所医師会 平成28年7月代議員会議事録

と き：平成28年7月27日（水） 午後6時30分～7時20分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 依藤亨 根引浩子 稲田 浩 出雲谷恭子  
細井雅之 村田佳津子 山口利昌 金本元勝 吉野祥一 鈴木真司  
田中政宏 栗原敏修 古塚大介（15名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：中西亜紀 撫井賀代 愛場庸雅 英久仁子 山田明子 中田真一  
河田 弘 平林 円 高野保名 森本武志 森秀夫（11名）

## 1. 委員会報告

・会長報告

・各委員会報告

総務委員会 総会について

男女共同参画委員会

広報委員会 ホームページの更新（学術集会の案内、研究支援等）報告

## 2. 議題

・学術集会について

▶演題14応募あり、4セッションで構成

▶優秀賞、参加賞、座長への謝礼等は例年とおおり

▶保育ルームの設置

▶冊子の配布について

・平成27年度決算について

・その他

▶委員会担当について

▶総合医療センターの医局の移転について

▶病院以外の職場の倫理委員会について

※事務局より問い合わせ結果、府医師会にはないが日本医師会にあり

# 大阪市役所医師会 平成28年8月代議員会議事録

と き：平成28年8月23日（火） 午後6時30分～午後7時

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 中西亜紀 依藤 亨 根引浩子 撫井賀代  
出雲谷恭子 細井雅之 山口利昌 金本元勝 吉野祥一 西口幸雄  
鈴木真司 田中政宏 森本武志（15名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：愛場庸雅 志村雅彦 稲田 浩 山田明子 中田真一 平林 円  
舟本仁一 古塚大介 林下浩士 高野保名 栗原敏修 森 秀夫  
河田 弘（13名）

## 1. 委員会報告

- ・会長報告
- ・各委員会報告
  - 総務委員会
  - 男女共同参画委員会 女性医師の会会報18号について
  - 広報委員会 ホームページの更新、会報134号について

## 2. 議題

- ・総会、学術集会について
  - ▶採点について
  - ▶参加者名簿について
  - ▶保育ルームについて
- ・大阪府医師会医学会評議員について

# 大阪市役所医師会 平成28年9月代議員会議事録

と き：平成28年9月28日（水） 午後6時30分～7時30分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 志村雅彦 依藤 亨 根引浩子 出雲谷恭子 村田佳津子  
原 純一 山口利昌 撫井賀代 細井雅之 西口幸雄 鈴木真司  
日浦義和 金本巨哲（14名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：中西亜紀 愛場庸雅 平林 円 稲田 浩 舟本仁一 森本武志  
栗原敏修 森 秀夫 河田 弘（9名）

## 1. 委員会報告

- ・会長報告 麻疹ワクチンについて
- ・各委員会報告
  - 総務委員会
  - 男女共同参画委員会 議題で審議
  - 広報委員会 会報134号について

## 2. 議題

- ・新代議員の推薦について
- ・市民公開糖尿病ゼミナールの共催について
- ・認知症関係研修への後援について
- ・総会、学術集会の結果及び反省点について
- ・その他
  - ▶医局移転に関わる女性医師の更衣室移転について
  - ▶レジデント、女性医師の処遇や環境整備について
- ・次回開催予定 10月25日(火)



## 大阪市役所医師会 代議員名簿

(平成28年9月28日現在)

ブロック名	代 議 員 名	○は理事	人数
総合医療センター	愛場 庸雅      有元 秀樹      奥谷 龍      川村 直樹 川崎 靖子○      國行 秀一      清水 貞利      田中 正博○ 西垣 恭一      西口 幸雄○      根引 浩子○      原 純一 古塚 大介○      細井 雅之○      村田佳津子○      森 秀夫 山口 利昌      山田 明子      山根 孝久      依藤 亨○ 林下 浩士      金本 巨哲		22
住吉市民病院	舟本仁一      英 久仁子		2
十三市民病院	安達 高久      中田 真一      田中 享      日裏 義和 平林 円		5
健康局	撫井 賀代○      高野 保名		2
保健所、各区保健センター	吉野 祥一      澤田 好伴○      稲田 浩○		3
こころの健康センター	田中 政宏		1
心身障害者リハビリテーションセンター	河田 弘      鈴木 真司		2
弘済院附属病院	志村 雅彦○      中西 亜紀○      金本元勝		3
人事室	出雲谷恭子○		1
こども青少年局	森本 武志		1
教育委員会	栗原 敏修		1
合 計			43

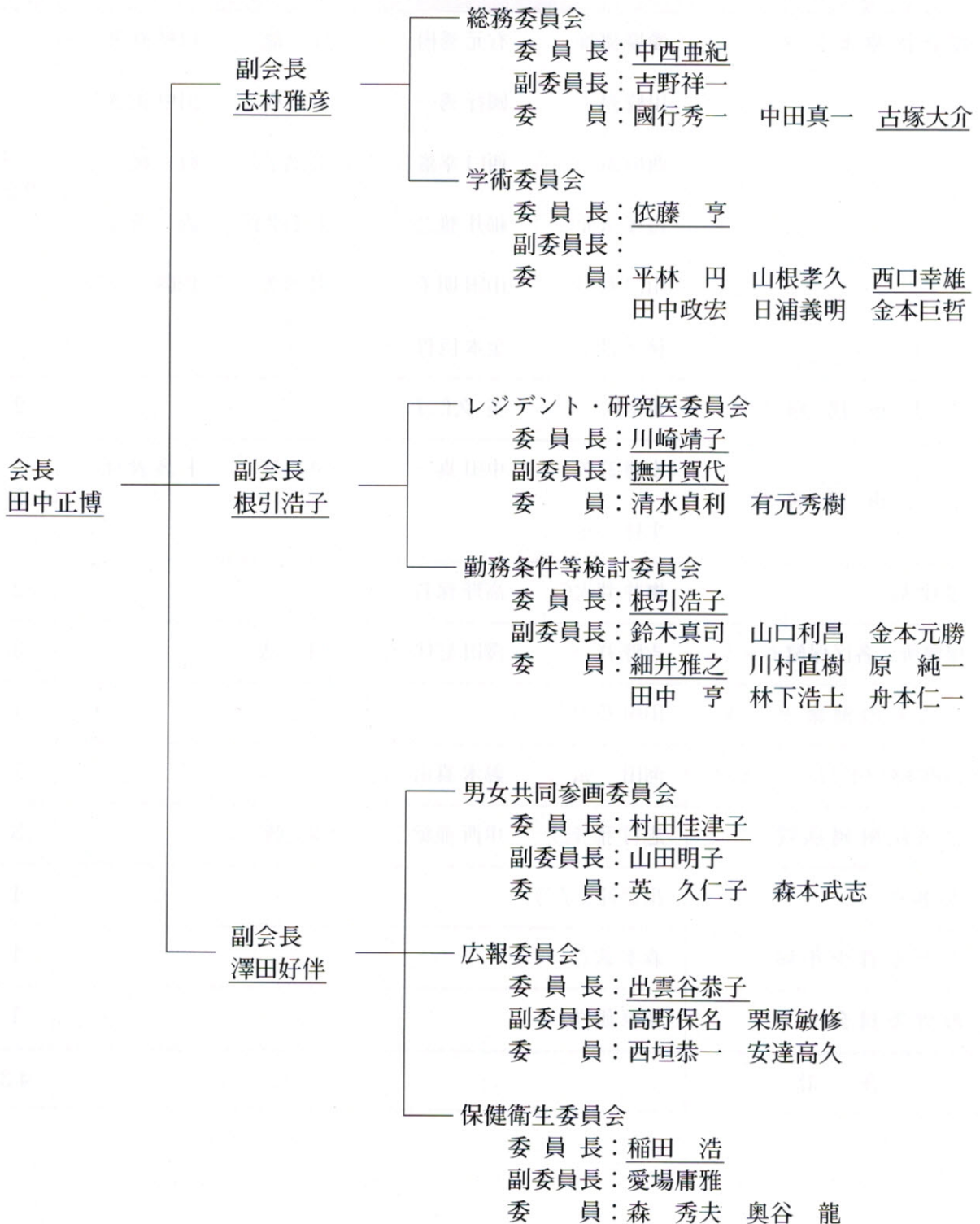
# 大阪市役所医師会役員・委員会組織表

平成28年9月28日現在 任期：平成30年4月30日

下線は理事

議長：河田 弘

監査委員：大川清孝 横山 連





## お知らせのページ



### 会員名簿について

会員名簿については、大阪市役所医師会ホームページ <http://www.ocma.jp/> の会員専用ページに掲載しております。会員専用ページ閲覧に必要なIDとパスワードは平成28年6月1日に更新されましたが、平成28年5月に事務局より先生方に通知させていただきました。

会員情報を各自ご確認いただき、修正必要箇所がありましたら、恐れ入りますが事務局までメールにてお知らせください。年度途中で退職予定の方は、退会届を事務局にご提出ください。その他、会員の転入・転出・異動があればご一報くださいますようお願いいたします。

大阪市役所医師会事務局の連絡先は、TEL 06-4792-7075、  
メールアドレスは [ishikai@oeпа.or.jp](mailto:ishikai@oeпа.or.jp) です。

### 編集後記

大阪市役所医師会報134号が出来ましたのでお届けします。先生方にはお忙しい中原稿をお寄せいただきありがとうございました。

今年も学術集会の様子は、市役所医師会ホームページのフォトギャラリーで見ることができますので、ぜひ一度ご覧ください。

当会報やホームページでは、その他の学会・イベントのご案内、研究論文、留学・研修記などの原稿、季節の写真等を受け付けておりますので、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

(出雲谷 恭子 記)

# 市民公開糖尿病ゼミナール ためしたカッテン

2016

## 週刊誌に負けない！ 糖尿病の最先端治療

開催日 平成28年11月2日（水）

12:30～15:30

場所 大阪市立総合医療センター さくらホール

**糖尿病治療のウソ、ホント**

糖尿病内科部長 細井雅之 糖尿病専門医 武内真有

**ホントに危ない？糖尿病の薬**

薬剤師 山崎美由紀

**食べていいのか、炭水化物**

管理栄養士 宮下智子

**看護師は見た！糖尿病の真実**

糖尿病看護認定看護師 倉岡賢治 熊野真美

**これなら安心！在宅支援のうまい活用法**

都島区北部包括支援センター 看護師 戸谷美香

都島オレンジチーム 看護師 眞鍋さよ子

レジスタンス運動  
理学療法士  
隅野泰史

血管年齢  
臨床検査技師  
横田裕香  
(人数限定)

バーチャル  
バイキング

都島区北部  
地域包括支  
援センター

問合せ TEL 06-6929-1221(代表) / FAX 06-6929-0886

共催 大阪市役所医師会・DM net One・都島区北部地域包括支援センター・都島オレンジチーム

DMnet One

DM network in Osaka North East